

J R 総連通信

2018年7月24日 No.1283

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

韓国鉄道労組元KTX支部乗務員が復職を勝ち取る！



2008年 第5回日韓青年労働者交流



2007年 JR総連青年協議会春闘集会



2008年 KTX 支部鉄塔籠城闘争支援



7月21日午後 ソウル駅での記者会見
ハンギョレ新聞より

2006年5月、契約通りに韓国鉄道公社の正規職員として雇用することを求めてストライキ闘争に立ち上がった韓国高速鉄道KTX乗務員が解雇されてから12年。韓国鉄道労組（KRWU）と韓国鉄道公社（KOREIL）は2018年7月21日、復職に向けて合意したと発表した。

合意内容は、解雇されたKTX乗務員のうち、地位確認訴訟を闘ってきた仲間たちを正規職員として採用し当面は駅務に従事させ、現在子会社によって運営されているKTX乗務をKOREILが直轄で行うことになった時点で、KTX乗務員にするというもの。

当初280人いた解雇者は、KTX支部を設立し闘争を続けてきたが、長い闘いの過程で様々な理由によりその数を減らし、現在まで闘い続ける仲間は33人となっている。闘いの過程では、不当判決により多額の支払いを命じられ、仲間が命を絶つなど、辛く、厳しい闘いを強いられてきた。しかし、12年もの粘り強い闘いによって勝利した。

JR総連は、KTX乗務員解雇直後から現地支援に取り組み、解雇翌年にはKTX支部を設立し闘争を続ける仲間を日本に招待し集会を開催、さらに毎年開催している日韓青年労働者交流でKTX支部の闘いの報告を受けるなど、連帯する闘いを継続してきた。また、今回の闘争勝利に対しお祝いのメッセージを送るとともに、今後の日韓交流の中で成果や課題を共有していく計画だ。

KTX支部の要求に対する完全勝利までには少し課題も残るが、JR総連は今後も韓国鉄道労働者の闘いへの連帯を継続し、完全勝利に向けてともに闘っていく。